

♠ Joyful Male Chorus (JMC) ♠

合唱団『男声合唱を楽しむ会』

第8回 サロンコンサート



創立記念合宿 大府市勤労文化会館
2013年 6月1日～2日

指揮 向川原 慎一
小平 康義
ピアノ 早瀬 洋子
司会 伊藤 春雄

2013年9月29日(日)
開場 13:00 開演 13:30
名古屋市熱田文化小劇場

主催 合唱団『男声合唱を楽しむ会』

<http://www.tanosimu-dg.org/>

ごあいさつ



本日はご来場いただきありがとうございます。すでにお気付きの方もいらっしゃると思いますが、当会の団体名「男声合唱を楽しむ会」の前に”合唱団”を付けることにいたしました。これは当会に入会したいと応募された方から「てっきり男声合唱を聞いて楽しむ会と思って来たのに歌う会ですか？」と言われたことがきっかけで、我々の思い込みを反省して明確にしたものです。

さて本年の第8回コンサートは「創立10周年記念特別企画」として、第5ステージでは今までと少し趣を変えて、弦楽五重奏との共演で「歌と共に生きる」という「歌ものがたり」を演奏することにしました。これは会の活動を振り返る創立10周年記念コンサートのために企画・構成したもので、全14曲からなる大作です。内容は、当会メンバーの平均年齢位の男性がこれまでの人生を振り返るもので、皆さんが若かった時のよくご存知の歌も色々出て来ると共に、名調子のナレーションも含めてお楽しみいただけるのではないかと思います。

また、当会10年の活動の中で記念すべきイベントとしては、8年前の「愛知万博・おまつり広場」の舞台上、一般の方々に我々の合唱を最初に聞いていただいたことです。

本日はこれに思いを馳せて「第4ステージ」で、その時に出演した女性の方々の参加も得て、そこで歌った「川の流れのように」と、もう1曲「Stand Alone」の2曲を混声合唱で歌うことにしました。

これ以外に「第1ステージ」では力強い男声合唱組曲「雨」、また「第2ステージ」では同じ男声合唱ですが少々繊細な響きをもった抒情曲集「犀川」を会内指揮者小平康義の指揮で歌います。

どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。なお最後になりますが、当合唱団の今後の成長・発展に資するために、このプログラムと一緒に配布したアンケート用紙に皆さんの忌憚のない、特に辛口のご意見をお書きいただければ幸いです。宜しくお願い申し上げます。

会長 藤野 倫男

あゆみ

男声合唱を楽しむ会は、かつて職場などで経験した合唱の楽しさをもう一度味わおうと、2003年(平成15年)に結成され、2005年の「愛知万博・おまつり広場」で初めて公演を行いました。

初心者からベテランまでの幅広い年齢層による一般の男声合唱同好会として、月2回の練習例会と年1回以上の公演活動を行っています。

毎年行っている6月の創立記念合宿・8月の夏合宿を始め、新年会・折々の懇親会など、年齢を忘れて合唱活動を楽しんでいます。

- 2003年 4月:第1回設立準備委員会開催
- 2003年 6月:第1回練習開催
- 2004年 8月:「音の交流会」開催----- 三菱重工健保会館
- 2005年 4月:指揮者「向川原 慎一」先生招聘
- 2005年 9月:「愛知万博・おまつり広場」公演に出演
- 2006年 8月:「第1回 ファミリー合同練習会」開催----- 名古屋市音楽プラザ
- 2007年 8月:「第2回 サロンコンサート」開催----- 名古屋市音楽プラザ
- 2008年 9月:「第3回 サロンコンサート」開催----- 名古屋市音楽プラザ
- 2009年 3月:「第1回 シルバーコーラス交歓発表会」出演 ----- 中京大学文化市民会館
- 2009年11月:「第4回 サロンコンサート」開催----- 名古屋市音楽プラザ
- 2010年 3月:「第2回 シニアコーラス交歓発表会」出演 ----- 中京大学文化市民会館
- 2010年10月:「第5回 サロンコンサート」開催----- 名古屋市音楽プラザ
- 2011年 3月:「第3回 シニアコーラス交歓発表会」出演 ----- 中京大学文化市民会館
- 2011年12月:「第6回 サロンコンサート」開催----- 名古屋市熱田文化小劇場
- 2012年 3月:「第4回 シニアコーラス交歓発表会」出演 ----- 中京大学文化市民会館
- 2012年10月:「第7回 サロンコンサート」開催----- 名古屋市熱田文化小劇場
- 2013年 3月:「第5回 シニアコーラス交歓発表会」出演 ----- 日本特殊陶業市民会館

プログラム



オープニング

指揮 向川原 慎一

- やまびこ ----- 作詞 鼓 あかね 作曲 O.di ラッソ

第1ステージ

指揮 向川原 慎一

男声合唱組曲「雨」

作曲 多田 武彦

- 雨の来る前 ----- 作詞 伊藤 整
- 武蔵野の雨 ----- 作詞 大木 惇夫
- 雨の日の遊動円木 ----- 作詞 大木 惇夫
- 雨の日に見る ----- 作詞 大木 惇夫
- 雨 ----- 作詞 八木 重吉

第2ステージ

指揮 小平 康義 ピアノ 早瀬 洋子

男声合唱とピアノのための抒情曲集「犀川」

作曲 磯部 俣 編曲 須賀 敬一

- 時無草 ----- 作詞 室生 犀星
- 林のなか ----- 作詞 高田 敏子
- 犀川 ----- 作詞 室生 犀星
- 松の花 ----- 作詞 大木 惇夫

第3ステージ

指揮 小平 康義 ピアノ 早瀬 洋子

My Song / Your Song みんなで歌おう

- 故郷を離るる歌 ----- 作詞 吉丸 一昌 曲 ドイツ民謡
- 手のひらを太陽に ----- 作詞 やなせたかし 作曲 いずみ たく
- 思い出 ----- 作詞 古関 吉雄 作曲 T.H ベイラー

=休憩(15分)=

第4ステージ

指揮 向川原 慎一 ピアノ 早瀬 洋子

混声合唱 賛助出演 愛知万博・ファミリー合同練習会 / 混声合唱団レ・マーニ

- 川の流れのように ----- 作詞 秋元 康 作曲 見岳 章
- Stand Alone ----- 作詞 小山 薫堂 作曲 久石 譲

第5ステージ

企画・構成 合唱団『男声合唱を楽しむ会』

創立10周年記念特別企画

編曲・指揮 向川原 慎一

- 男声合唱による歌ものがたり「歌と共に生きる」

ピアノ 早瀬 洋子

ヴァイオリン 野添 弥麻美 稲垣 誓子

ヴィオラ 小坂 ゆかり

チェロ 松崎 安里子

コントラバス 羽塚 知啓

語り 伊藤 春雄

会場全員合唱

- もみじ ----- 作詞 高野 辰之 作曲 岡野 貞一

プロフィール



指揮: 向川原 慎一



早稲田大学卒業。長年にわたり合唱指揮・合唱指導を行い、現在も名古屋市を活動拠点として、いくつかの団体の指揮者を務める。

さらに、歌曲を中心とした作曲活動を続け、2007年の奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門(中田喜直賞の部)では2曲が本選に進み、優秀賞と入選を得た。

また、合唱編曲ではカワイ出版から「混声合唱のための5つのトスティ歌曲」と「ドボルジャークのジプシーの歌」が出版されている。

小林研一郎氏に師事。

ピアノ: 早瀬 洋子



愛知教育大学音楽科、同大学院修了。

在学中より名古屋二期会、名古屋オペラ協会、名古屋市文化振興事業団、愛知県文化振興事業団、三重オペラ協会、岐阜県産業文化振興事業団、名古屋芸術大学、長久手オペラレクチャーコンサートなどで多数のオペラ、オペレッタ、ミュージカルの稽古ピアニスト、コレペティトウア、ピアノ公演ピアニストを務める。

伴奏ピアニストとして活動する傍ら、コーラス指導も手がける。また名古屋芸術大学では長年にわたり、オペラの授業助手を担当している。

弦楽五重奏: シェリエ・アンサンブル



- 第1ヴァイオリン: 野添 ^{やおみ} 弥麻美

愛知県立芸術大学音楽学部卒業。ソロをはじめ室内楽・オーケストラなど幅広く活躍。2005年より「ピアチュレ・マンマ」を結成、ヴァイオリン・歌・ピアノによりクラシックやミュージカルなどの曲に色々工夫を凝らし、お話しをまじえながらの楽しい演奏は、幅広い年齢層に好評を博している。現在、名古屋音楽学校講師。日本弦楽指導者協会会員。

- 第2ヴァイオリン: 稲垣 ^{ちかこ} 誓子

愛知県立芸術大学音楽学部卒業。同大学卒業演奏会出演。A・コックス来日記念演奏会に出演。ソロ・室内楽・オーケストラの分野で幅広い演奏会活動が続けるとともに、後進の指導に取り組む。現在、モリス弦楽四重奏団・名古屋パストラレ合奏団各団員、カワイ音楽栄教室センター講師。

- ヴィオラ: 小坂 ゆかり

愛知県立芸術大学音楽学部卒業。「桑原賞」受賞。中部読売新人演奏会、NHK「夕べのひととき」出演。第18回民音コンクール(現・東京国際音楽コンクール)室内楽部門において、斉藤秀雄賞受賞。現在、セントラル愛知交響楽団契約団員、名古屋パストラレ合奏団・メイプル弦楽四重奏団メンバー、ヤマハ伏見音楽センター講師。



- チェロ:松崎 ^{ありこ}安里子

愛知県立芸術大学音楽学部および同大学院修了。「桑原賞」受賞。第18回民音コンクール室内楽部門において斉藤秀雄賞受賞。1995年～1998年プラハにてチェロトリオのM・ペトラーシュ氏のもとで研鑽を積む。現在、滋賀県立石山高校音楽科非常勤講師。

- コントラバス:羽塚 ^{ともひろ}知啓

桐朋学園大学音楽学部卒業。東京芸術大学大学院修了。在学中、在京オーケストラにエキストラとして出演。その後ウィーン国立音楽大学に入学。ウィーンの教会およびエドゥアルト・メルクス率いるバロックアンサンブル、バーデン市のオペレッタハウス等にエキストラとして出演。ディプロム取得(卒業)後帰国。現在、名古屋を中心に室内楽・ソロ等で活躍。名古屋音楽学校講師。

司会・語り:伊藤 春雄



三菱重工業株式会社 名古屋航空宇宙システム製作所に入社。退社後、東海ラジオ『さん！さん！モーニング』を始め、岐阜放送、CBCラジオなど、数多くのパーソナリティを務める。

また鈴鹿サーキットで30年以上にわたってF1をはじめフォーミュラニッポン等のレースアナウンサーを担当。最近は地元コミュニティFM放送局を設立するために活動している。

賛助出演

混声合唱団 レ・マーニ

- あゆみ

1996年発足。1998年から定期的に演奏会を、愛知県愛知郡東郷町のコンサートホール「レ・マーニ」で行い、2012年には第5回演奏会を行う。

今年から指揮者に向川原愼一先生を迎え、毎週、火曜日に2時間の練習を行っている。11月10日には「レ・マーニ」20周年祝賀コンサートに出演予定。

- 出演者

S o p . : 内川 富美子、尾澤 雅子、片岡 有美子、片山 さよみ、佐藤 まゆみ、佐々木 美春、真野 月子(7名)

A l t . : 大藪 長子、郡山 洋子、牧野 直子、早田 芳子、藤田 文子、細谷 和子(6名)

T e n . : 青島 ゆみを、井奥 博之、種子田 實郎、広瀬 淑之(4名)

B a s s : 木村 幹夫、塚原 徹也、藤掛 富夫、渡辺 喜久(4名)

愛知万博／ファミリー合同練習会

- 経緯

職場合唱時代の仲間や、会員の家族又はその知り合いの方々と、2005年の愛知万博公演や2006年のファミリー合同練習会に参加して一緒に歌って頂いた女声約40名の中から、22名の有志の皆さんに参加して頂きました。

- 出演者

S o p . : 森 つた子、斉藤 美代子、間宮 幸子、大西 昌子、神原 佐代子、野上 あや子、小保方 房子、野々山 淑子、中村 悦子(9名)

A l t . : 伊藤 正子、中埜 京子、山北 桂子、岩崎 芳子、橋本 益子、古一 令子、長橋 千鶴子、田中 君枝、鈴木 令子、三宅 善子、小平 弘子、吉村 英子、葦沢 淑子(13名)

合唱団『男声合唱を楽しむ会』



役員

- 会長: 藤野 倫男
- 副会長: 大嶋 順治
- 総務: 岩崎 幸男、生越 英三
- 渉外: 岩田 照雄
- パートマネージャ:
Ten. 1 岩田 照雄 Ten. 2 堀尾 貞臣
Bar. 古賀 寛哉、塚原 徹也 Bass 木村 幹夫、城戸 俊輔
- 技術 (会内指揮者) : 小平 康義、岩崎 幸男
- 会計: 岩田 照雄
- 広報: 木村 幹夫、石田 重夫
- 楽譜: 木村 幹夫

会内指揮者: 小平 康義



長年に亘って職場合唱で混声合唱の指揮を担当し、合唱を通じて多くのOG・OBが影響を受けた。筆者もその一人である。

音楽理解と発声・歌唱には独特のものがああり、限りなく合唱を愛し、歌う喜びを感じさせる根っからの合唱人である。

当会においては豊富な合唱経験、指揮経験を生かして会内指揮者として力を尽くし、高い信頼のもとに活動の原動力となっている。会の目標・理念を地で行く人、そのものである。

出演者

- Ten. 1: 青島 ゆみを、井田 三郎、岩田 照雄、向後 宣彦、小平 康義、橋本 光正、広瀬 淑之、三宅 宏幸、吉田 成吾 (9名)
- Ten. 2: 伊藤 和久、大河内 康二、高瀬 幸夫、林 光明、堀尾 貞臣、丸山 武夫、門間 清秀、横井 邦明 (8名)
- Bar. : 石田 重夫、岩崎 幸男、生越 英三、川上 隆三、古賀 寛哉、近藤 峯生、塚原 徹也、藤野 倫男、吉村 洋和 (9名)
- Bass: 遠藤 恭之、大嶋 順治、神谷 秀雄、城戸 俊輔、木村 幹夫、田中 昭、寺田 善幸、不動野 敏昭 (8名)

♪♪♪ ファミリー合同演奏会／サロンコンサートの主な演奏曲 ♪♪♪

- 第1回: 男声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」 源田 俊一郎編曲
故郷、春の小川、朧月夜、鯉のぼり、夏は来ぬ、われは海の子、村祭り、紅葉など
- 第2回: 男声合唱組曲「柳川風俗詩」 北原 白秋作詞 多田 武彦作曲
柳川、紺屋のおろく、かきつばた、梅雨の晴れ間
- 第3回: 男声合唱組曲「雪明りの路」 多田 武彦作曲
春を待つ、梅ちゃん、月夜を歩く、白い障子、夜まわり、雪夜
- 第4回: 男声合唱組曲「水のいのち」 高野 喜久雄作詞 高田 三郎作曲
雨、水たまり、川、海、海よ
- 第5回: 男声合唱組曲「心の四季」 吉野 弘作詞 高田 三郎作曲 須賀 敬一編曲
風が、みずすまし、流れ、山が、愛そして風、雪の日に、真昼の星
- 第6回: 男声合唱組曲「蔵王」 尾崎 左永子作詞、佐藤 眞作曲、向川原 慎一編曲
蔵王賛歌、投げよう林檎を、苔の花、どっこ沼、雪むすめ、吹雪、樹氷林、早春
- 第7回: 男声合唱組曲「筑後川」 丸山 豊作詞 團 伊玖磨作曲、向川原 慎一編曲
みなかみ、ダムにて、銀の魚、川の祭り、河口

曲目紹介



🎵 オープニング

イタリアで親しまれていた合唱曲。音楽の友社「合唱名曲ガイド110」に選ばれている。歌詞はオープニングのために特別に作詞。なお、離れているグループが「やまびこ」担当です。

🎵 第1ステージ 男声合唱組曲「雨」

作曲家多田武彦は、1930年(昭和5年)に大阪で生まれ、京都大学法学部を卒業後、銀行に勤務の傍ら、作曲家として多くの合唱曲を手がけている。本組曲は、1967年(昭和42年)に明治大学グリークラブからの委嘱作品として作曲された。

CDの解説で多田は、「雨は人間にとっては親しい間柄で、その自然現象は昔から人間に色々な感情(孤独感やすがすがしさなど)を与えてきた。様々な雨と、その時々の人間の心との交流を主題にしてこの作品を書いた」と述べています。歌詞から筆者には、やや独断的ですが、それぞれの曲が、強く雄大な夏・生命感のある春・寂寥感たよう秋・厳しい冬を歌い、それはまた人生を歌っている様に思えます。そして終曲「雨」へと続き、「晩年はかくありたい」という思いに共感を覚える人も多いのではないのでしょうか。年齢を重ねたメンバーの多い当会なりの演奏をお聞きください。

1. 雨の来る前

ざあっとやってこいよ 夏の雨
地上のすべてのものは用意している。
山の麓から低くかぶさってしまった雲よ。
夏の緑はうす暗い蔭におおわれ
物ほしに白いものがかかり
燕は黒く曇天の下を飛び交い
人は重い頭をして室にいる。
降って来いよ 夏の夕立
その時 始めて人の目はほっと開かれ
草木も葉を そよがせるのだ。

3. 雨の日の遊動円木

雨の日の遊動円木
びしょびしょ濡れて、ただ光って、
動くは低い雲ばかり。

雨の日の遊動円木
鐘が鳴っても、昼休みでも、
ゆすぶるものは 風ばかり。

雨の日の遊動円木
落ちる银杏葉、ゆうかりの葉
雀が吹かれて 乗るばかり。

雨の日の遊動円木
びしょびしょ濡れて、もう日も暮れて
八ツ手の花が 見ているばかり

(注)遊動円木:丸太を鎖などで地上低くつり下げて、前後に揺り動かしながらその上を歩いて渡る運動用具。

2. 武蔵野の雨

群鳥を追いながら
どの土地を濡らしにゆく
月の夜ごろを掠める雨
橡の匂いのふんとする雨
武蔵野の雨

(注)橡:ぶな科の落葉高木。実はどんぐり。

4. 雨の日に見る

冬、ほのぐらい雨の日は
朱欒が輝く、朱欒が…
これは、眼をひらいて見る夢なのか。

街燈は ぬれている、泥靴は喘いでいる、
風は雀をふっ飛ばしている。
人間の後姿はいそいでいる、歌は絶えている、
電線はひきつっている、
枯れ木はふるえている。
私の身体は凍えている、
私は祈りをわすれている。

そうして私はただ見る、
ほのぐらい雨の影のなかに
ぼっかり朱欒の浮かぶのを 輝くのを。

5. 雨

雨のおとが きこえる
雨がふっていたのだ。
あのおとのように そっと世のために
はたらいていよう。
雨があがるように しずかに死んでゆこう。

第2ステージ 男声合唱とピアノのための抒情曲集「犀川」



作曲者 磯部 俣は、1917年(大正6年)に東京で生まれ、1937(昭和12)年早稲田大学芸術学部に入學。在學中から作曲を学び、學生として早稲田大学グリークラブを指揮。卒業後 NHK 東京放送合唱団員となりプロの道へ。多くの合唱団の育成・指導にあたっていたが、その傍ら作曲活動も盛んに行い、歌曲・合唱曲に多くの名作を残している。1998年(平成10年)に永眠。

「時無草」・「林の中」・「犀川」・「松の花」は1951年(昭和26年)から1964年(昭和39年)に女声合唱曲・歌曲として作曲され、2000年(平成12年)から2006年(平成18年)にかけて、磯部に師事した須賀敬一により、男声合唱曲として編曲された。(出典:いそべとし記念男声合唱団ホームページ)

歌ってみて、詩もさることながら、旋律の美しさが特に印象的でした。しかし、拍子が途中で大きく変化(6/8→4/4→6/8)する曲、テンポの速い曲、あまり馴染のない 5/4 拍子の曲などでは、戸惑いを感じたり、なかなかしっくりとしなかったり…ということがありました。頑張った成果は本日の演奏で。

1. 時無草

秋の光にみどりぐむ
時無草は摘みもたもうな
優しく日向にのびてゆくみどり
そのゆめもつめたく
光は水のほとりにしずみたり
友よひそかにみどりぐむ
時無草はあわれ深ければ
その白き指もふれたもうな

3. 犀川

美しき川は流れたり
そのほとりに我は住みぬ
春は春 夏はなつの
花つける堤に坐りて
こまやけき本のなさけと
愛とを知りぬ
いまもその川ながれ
美しきそよかぜ微風ととも
蒼き波たたえたり

2. 林のなか

少女よ あなたの隣には
だれもいない
けれど私には見えるのです
旅装をといたばかりの「秋」が
あなたのスケッチブックをのぞいているのが…
そして あなたのハミングの
「赤とんぼ」をききながら
ここにしばらく休んでいるのが…

4. 松の花

松の木に花の咲くころ 松の木は悲しい、
黄色っぽい粉がほろほろ…

松の木によく登ったあのころ
松の木のとっぺんに
青い海の響きを聴かうとした、

あのころの、大人びた癖は今も悲しい、
砂地に脱いだあの靴は
よし、あつても、今は小さい…

松の木に花の咲くころ 松の木は悲しい、
黄色っぽい粉がほろほろ…

一ばん高い松の木に登れば
ひとしほ胸に沁みた松脂よ、磯の匂ひよ…
松の木の花のさくころ 松の木は悲しい。

練習風景: 金山音楽プラザにて



第3ステージ My Song/Your Song みんなで歌おう



● 故郷を離るる歌

1. 園のさゆり なでしこ 垣根の千草^{ちぐさ}
今日は汝^{なれ}を眺^{なが}むる おわりの日なり
おもえば涙 ひざをひたす
さらば故郷
さらば故郷 さらば故郷 故郷さらば

2. つくし摘みし丘^{やしろ}べよ 社の森よ
小ぶなつりし小川よ 柳の土手よ
わかるるわれを あわれと見よ
さらば故郷
さらば故郷 さらば故郷 故郷さらば

● 手のひらを太陽に

1. ぼくらはみんな 生きている
生きているから 歌うんだ
ぼくらはみんな 生きている
生きているから かなしいんだ
てのひらを太陽に すかして見れば
真っ赤に流れる ぼくの血潮
ミミズだって オケラだって
アメンボだって
みんな みんな生きているんだ
友だちなんだ

2. ぼくらはみんな 生きている
生きているから 笑うんだ
ぼくらはみんな 生きている
生きているから うれしいんだ
手のひらを太陽に すかして見れば
真っ赤に流れる ぼくの血潮
トンボだって カエルだって
ミツバチだって
みんな みんな生きているんだ
友だちなんだ

● 思い出

1. 垣に赤い花咲く いつかのあの家
夢に帰るその庭 はるかな昔
鳥の歌木々めぐり そよ風に花ゆらぐ
なつかしい思い出よ はるかな昔

2. 白い雲浮かんでた いつかのあの丘
駆け下りた草の道 はるかな昔
あの日の歌うたえば 思い出す青い空
なつかしいあの丘よ はるかな昔

第4ステージ (合同演奏)

● 川の流れのように

1989年(平成元年)1月に発売されたが、同年6月、美空ひばりは死去し、この曲は遺作となった。同年末の第31回レコード大賞では、この作品に「特別荣誉歌手賞」「金賞」と「作曲賞」が授与された。

● Stand Alone

2009年11月から2011年12月に放送のNHKドラマ「坂の上の雲」の主題歌。明治を生きた主人公の秋山兄弟と正岡子規の気概を感じます。

第5ステージ 男声合唱による歌ものがたり「歌と共に生きる」

● 経緯

創立10周年を記念して、弦楽器との共演をと言う話が持ち上がり、当初は演奏会の行われる秋にちなんだ内容を検討した。しかし、会員に諮った結果、社会経験豊富な聴衆および会員のほとんどが共感できる共通のテーマとして、幼少期から現在及び将来に繋がる人生の歳時記…今まで歩んできた過去を振り返り、現在を見つめなおし、そして未来を明るく前向きに生きようとする、希望と幸せを感じさせる内容…にしてはどうかという意見が大勢を占めた。シナリオ作成・選曲・編曲を経て本日のステージに至った。

● あらすじ

太平洋戦争の真ただ中に生まれ、成長・就職し家庭をもった一人の男性(主人公)が、日本の高度成長と時を同じくして、家庭に恵まれ仕事に成功を収めるが、定年間際に唯一のよりどころであった仕事での挫折を経験する。行き場を失った主人公が、訪れたのはふるさとの町。そして彼を出迎えたのは…



もみじ

作詞：高野 辰之
作曲：岡野 貞一

Andantino ♩=80

mp

1. あきの ゆうー ひ に て るー やま も みー じ
2. たにの ながー れ に ち りー うく も みー じ

5

こいも うすー い も か ずー あ る な かー に
こなみに ゆらー れ て は なー れ て よー っ て

mf

9

まつを い ろ どー る か えー で やー つ たー は
あかやき い ろー の い ろー さ まー ぎ まー に

13

やまの ふ も と の す そー も よー う
み ずの う え に も お るー に しー き



第5回シニアコーラス交歓発表会 2013年3月

秋の夕日に照る山もみじ
濃いも薄いも数ある中に
松をいろどる楓や蔦は
山のふもとの裾模様
溪の流に散り浮くもみじ
波にゆられてはなれて寄って
赤や黄色の色さまざまに
水の上にも織る錦

♪♪♪ 会員募集中 いっしょに歌いませんか？ ♪♪♪

- 練習日：月2回（第2、4土曜日 13:00～16:30）
- 練習場所：名古屋市音楽プラザ（金山）大リハーサル室
- 会費：2,000円/月（学生 免除）入会金 1,000円
- 会の理念：歌をこよなく愛し、何時までも若々しく、お互いがお互いを理解し合い、歌を通じて健康で明るく豊かな人生を送る。
- 会の目標：より深く、熱い情熱を持って自分たちの音楽を模索し続け、他に類のない合唱団を目指す。
- 問合せ先：岩田照雄(090-5094-4773)